

## 報道資料

「新しい文化」を語る  
第 32 回浜松コンファレンス開催  
9 月 2 日（水）から申し込み受付開始

2015 年 9 月 1 日  
公益財団法人 光科学技術研究振興財団  
理事長 晝馬 明

当財団は、「文化の日に文化を語ろう」と毎年開催している「浜松コンファレンス」を、11 月 3 日（火）文化の日にアクトシティ浜松・中ホール（定員 1,000 名）で開催いたします。参加申し込みは 9 月 2 日（水）から先着順で受け付けます。

この催しは、今年で 32 回目を数えます。光科学・光技術が社会や産業においていかに利用され、また技術の向上によって市民生活がどのように豊かになっていくかを分かりやすく解説します。今後ますます光技術の重要性が認識されるなかで、今年も地域市民の皆様に、光技術を使った最先端の研究を紹介させていただきます。

今年、当財団理事長で浜松ホトニクス株式会社代表取締役社長 晝馬 明が、開催にあたっての挨拶と浜松光宣言の取り組みについての現状報告を行い、自然科学研究機構国立天文台副台長・教授、総合研究大学院大学数物科学研究科天文科学専攻教授 渡部 潤一氏が「宇宙生命は存在するか ― 天文学からのアプローチ ―」をテーマに講演します。また、講演の間に、ヴァイオリニスト 漆原 啓子氏、ピアニスト 今仁 喜美子氏のデュオによる音楽鑑賞があります。概要は以下の通りです。

### 記

#### <開催概要>

#### 第 32 回 浜松コンファレンス「新しい文化論」

日 時：11 月 3 日（火）文化の日  
開場 13：00 開演 13：30 終演 16：30（予定）

会 場：アクトシティ浜松・中ホール

主 催：公益財団法人 光科学技術研究振興財団

後 援：浜松市、浜松商工会議所、公益財団法人 浜松観光コンベンションビューロー、  
浜松ホトニクス株式会社

定 員：1,000 名（先着順に受け付け、定員で締め切りとさせていただきます）

参 加 料：一般 1,000 円、学生 500 円、高校生以下無料（当日会場で支払）

申し込み方法：住所、氏名をハガキまたは電話、FAX、電子メールで下記へ。

公益財団法人 光科学技術研究振興財団  
浜松コンファレンス実行委員会  
〒430-0926 浜松市中区砂山町 325-6 日本生命浜松駅前ビル  
TEL053-454-0598 FAX 053-454-1929 e-mail:hikari@hq.hpk.co.jp

プログラム：

13：35～ 主催者挨拶、浜松光宣言2015

公益財団法人 光科学技術研究振興財団 理事長、  
浜松ホトニクス株式会社 代表取締役社長 晝馬 明

14：05～ 音楽鑑賞

ヴァイオリニスト 漆原 啓子氏  
ピアニスト 今仁 喜美子氏、

15：00～ 講演 「宇宙生命は存在するか — 天文学からのアプローチ —」

自然科学研究機構国立天文台副台長・教授  
総合研究大学院大学数物科学研究科天文科学専攻教授 渡部 潤一氏

## <今回の講演内容>

「宇宙生命は存在するか — 天文学からのアプローチ —」 渡部 潤一

宇宙はまだ謎に満ちています。その中でも宇宙生命についての疑問、つまり「地球以外に生命は果たして存在するのか？」という疑問は科学者のみならず、一般の人にも興味のあるものでしょう。この問いの答えに迫る方法はいくつかありますが、現在、天文学や惑星科学の側面から、いくつかの努力が続けられています。そして、この答えはもうすぐ得られようとしています。今回は、いくつかの視点で、天文学からのアプローチがどのようになされ、どこまでわかってきたのか、そして今後どんなことがわかると予想されているのか、その研究最前線の状況を紹介します。

(プロフィール)

1960年 福島県会津若松市生まれ  
1983年 東京大学理学部天文学科卒  
1987年 東京大学東京天文台助手  
1988年 東京大学より理学博士  
国立天文台・光学赤外線天文学研究系・助手  
1994年 国立天文台広報普及室長を兼務(03年まで)  
1998年 国立天文台天文情報公開センター助教授  
2005年 国立天文台天文情報センター広報室長  
2006年 国立天文台天文情報センター長、広報室長兼務、准教授  
2010年 国立天文台天文情報センター・広報室長、教授  
2012年 国立天文台 副台長

研究内容：太陽系の中の小さな天体（彗星、小惑星、流星など）の観測的研究。特に彗星・流星を中心に太陽系構造の進化に迫る。国際天文学連合では、惑星定義委員として案の策定に従事し、準惑星という新しいカテゴリーを誕生させた。一方で、宇宙や星の輪廻転生といった概念を中心に独自の思想信条を軸に、天文学の広報普及活動に尽力している。

## <浜松コンファレンスについて>

浜松で「新しい文化論」を生み出す場を設けようと、1984年9月に独立した組織として浜松コンファレンス実行委員会を発足させました。浜松市教育委員長で浜松ホトニクス株式会社初代社長の故堀内平八郎が初代実行委員長になり、その年の11月3日文化の日に第1回を開催し、前社長で現会長の晝馬輝夫に引き継がれ、以降、毎年開催してきました。第17回からは、光科学技術の普及啓発事業の一環として、当財団が主催しています。

当初は、生体計測という観点から『人とからだ』を主テーマとしていましたが、その後は分野を広げて主テーマを『光』としました。講演では、多分野の研究者が最先端のサイエンスで何が行われているかを分かり易く解説し、そこから生まれる「新しい文化」について考えを発展させてきました。また、当財団理事長の晝馬 明が光技術によってもたらされる夢への挑戦を語ります。楽しみにしている常連の市民も数多く、毎年、満席となります。

## <発足趣意>

文化の日に「新しい文化」について語ろうと、長い歴史の中で先輩たちが築き上げてきた文化をもう一度認識し、その上に堅く立って、いかに生き、そしてどの方向に向かって歩いていくべきかを考える。集まる人数の多寡を問題にしない。まじめに、そして開き直って、自分と世界の将来を考える人達のものになりたい。



渡部 潤一 氏

## <この件に関するお問い合わせ先>

浜松ホトニクス株式会社 広報室 野澤 利行  
〒430-8587 浜松市中区砂山町 325 番地の 6 日本生命浜松駅前ビル  
TEL053-452-2141 FAX053-456-7888  
携帯電話 090-7695-1616 (17時以降は携帯電話をお願いします)

浜松コンファレンス / これまでの講演テーマ \* 役職は開催時のもの(敬称略)

回 年	主テーマ 会場	講演テーマ	
1 84	人とからだ グランドホテル浜松	放送大学教授・ 東京第二学習センター所長 平沢 彌一郎	音と人間
2 85	人とからだ グランドホテル浜松	名古屋大学環境医学研究所教授 間野 忠明	宇宙と人間
		東京慈恵医科大学小児科学教室教授 前川 喜平	発達よりみた育児への 提言
3 86	人とからだ 浜松市福祉文化会館	放送大学教授・ 東京第二学習センター所長 平沢 彌一郎	足の裏から見た人間像
4 87	人とからだ 浜松科学館	放送大学教授・ 東京第二学習センター所長 平沢 彌一郎	足の裏との対話
5 88	人とからだ クリエート浜松	浜松ホトニクス顧問・ 元東京大学物性研究所助教授 田村 正平	日本の科学の夜明けと その精神
6 89	光(ひかり) 浜北市文化会館大ホール	浜松医科大学学長 中井 準之助	才能の発掘
7 90	光(ひかり) 浜松市福祉文化会館	東北大学電気通信研究所所長 稲場 文男	光と生命
8 91	光(ひかり) 浜松市福祉文化会館	国立天文台・ 光学赤外線天文学研究系助教授 家 正則	宇宙を見る ～宇宙はどこまでわかったか
9 92	光(ひかり) 浜松市福祉文化会館	ハーバード大学・ボストン小児病院神経科・ 浜松医科大学産婦人科 成瀬 寛夫	光と周産期医学 ～ひかりが見守る母と子の命
10 93	光(ひかり) 浜松市福祉文化会館	通商産業省工業技術院電子技術総合研究所 超分子部長 松本 元	脳と心
11 94	光(ひかり) 浜松市福祉文化会館	大阪大学教授レーザー核融合研究センター長 中井 貞雄	レーザー未来社会 ～エネルギーと地球環境
12 95	光(ひかり) 浜松市福祉文化会館	東京大学宇宙線研究所教授 戸塚 洋二	地底から宇宙を探る ～光技術で探る素粒子と 宇宙の根源
13 96	光(ひかり) 浜松市福祉文化会館	東京大学教授・素粒子物理国際研究センター長 折戸 周治	物質と空間の構造を探る ～素粒子物理の方向と新技術
14 97	光(ひかり) 浜松市福祉文化会館	筑波大学応用生物化学系教授・ 先端学際領域研究センター長 村上 和雄	遺伝子から生命の秘密 を探る
15 98	光(ひかり) 浜松市福祉文化会館	国立天文台台長 小平 桂一	宇宙と人類
16 99	光(ひかり) 浜松市福祉文化会館	京都大学大学院理学研究科教授 西川 公一郎	ニュートリノの 質量を求める ～謎の素粒子ニュートリノ

回 年	主テーマ 会場	講演テーマ	
17 00	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	県西部浜松医療センター顧問・前副院長 金子 満雄	PETで見る 早期老人性痴呆の実態
18 01	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	立川音楽工房・古楽器奏者 立川 叔男	調べは時代を超えて
19 02	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	高エネルギー加速器研究機構・ 東京大学宇宙線研究所教授 戸塚 洋二	ニュートリノ研究 20 年
20 03	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	高知工業高等専門学校長 中井 貞雄	レーザーと未来社会Ⅱ 新産業創成
21 04	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	名古屋大学大学院理学研究科教授 三田 一郎	物理学者から見た 神の神秘
22 05	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	総合研究大学院大学理事・ 高等研センター長 菅原 寛孝	光で見た宇宙 ～宇宙は無から創られたか
23 06	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	大阪市立大学大学院・ 医学研究科システム神経科学教授 渡辺 恭良	疲労と意欲 ～見えてきたものと いまだ見えざるもの
24 07	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	自然科学研究機構国立天文台教授 次世代超大型望遠鏡プロジェクト長 家 正則	すばる望遠鏡で探る 137 億年の宇宙史
25 08	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	国立遺伝学研究所・ 集団遺伝研究部門 教授 斎藤 成也	光と遺伝子 ～宇宙の歴史における 生命の歴史
26 09	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所副所長・ 生命情報・DDBJ研究センター長 五條堀 孝	眼の起源と進化 ～われわれはどうして光を見る ことができるようになったのか
27 10	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	宇宙航空研究開発機構(JAXA) 月・惑星探査プログラ ムグループディレクタ 宇宙科学研究所教授 川口 淳一郎	「はやぶさ」の帰還への 7 年間の運用と、 今後の展望について
28 11	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	東京大学教授宇宙線研究所 神岡宇宙素粒子研究施設長 鈴木 洋一郎	暗黒物質(ダークマター)の 探索実験
29 12	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	東京大学先端科学技術研究センター 生命知能システム分野教授理学博士 神崎 亮平	昆虫パワーの科学 ー昆虫からみた脳科学・ ロボット・教育の未来ー
30 13	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天 文台長 林 正彦	現代の天文学と宇宙におけ る生命
31 14	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	東京大学 国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構 機構長 特任教授 村山 斉氏	宇宙に終わりはあるか